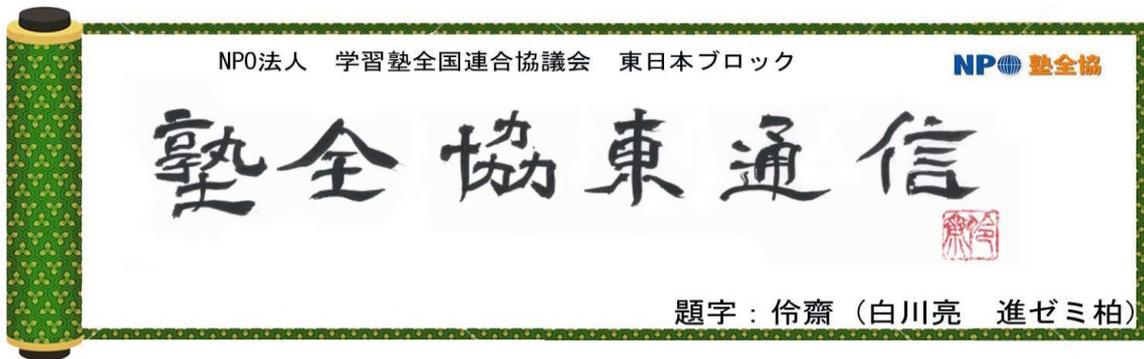


2019年8月



## 民間教育推進のための自民党国会議員連盟総会

日時：2019年（令和元年）6月25日（火）11:00~12:00

場所：衆議院第二議員会館

レポーター：NPO 塾全協全国事務局長・東日本ブロック広報局長 中村基和

参加団体：学習塾6団体その他。

参加者数：約90名



下村博文会長の挨拶

昨年4月に民間教育業界の振興及び活用推進を目的として発足した会ですが、今回は塾団体の代表として沼田広慶 NPO 塾全協会長が「部活動に係わる指導の徹底」というテーマで、現状報告と要望を発表しました。

### 《沼田広慶 NPO 塾全協会長の講演》

私は中学高校時代には柔道部に所属しており、大学・社会人になってもずっと柔道を続け、現役時代で講道館六段まで昇段致しました。そして、全日本柔道連盟の認定指導者の資格も取得しております。

私の柔道人生を振り返りまして部活が私を支えた大きな柱の一つになっていることは十分認識しているものであり、部活動そのものを何も否定することではありません。ただ、それでも、部活の現状を見ますと問題が多々あると思いますので本日は、それにつきましてお話しさせていただき次第であります。



まず【現状】であります。活動日について、部活動ガイドラインによると、運動部も文化部も「学期中は、週当たり2日以上 of 休養日を設ける。平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日（以下「週末」という。）は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。」とありますが、私の塾に通っている生徒からの聞き取り調査によれば、多くの部でこのことを守っておりません。

以下の例は千葉県松戸市にある自塾に通っている塾生からの聞き取り調査によるものでありますが、その他の地域で行われた調査も踏まえますと、かなり全国的な傾向と思われるます。

まず、例1としまして、ある公立中学校女子バレーボール部では学期中に月曜から日曜まで毎日練習がありまして、週末に練習試合や大会があっても振替の休養日はないことが普通でございます。

例2としましては、ある公立中学校のブラスバンド部でも、やはり年間を通して空きがないというのが現状でございます。

それから例の3は、他の地域でございまして後からお話があると思いますが、10%~20%の部活はテスト前日にあたりします。さらにこれは酷いと思うのですが、テスト期間中、つまり中間テストあるいは期末テスト中、午前でテストが終わったら午後は練習していけと言われたことをうちの部活をやっている生徒から聞きましてびっくりしました。

次に【活動時間】につきまして、部活動のガイドラインによると、運動部も文化部も「1日の活動時間は、長くとも平日は2時間程度、学校の休業日は3時間程度。」とありますが、守られていない部が多いようです。特に休業日の練習時間は非常に長い場合が多いという調査結果が出ております。

まず例の1。ある公立中学校女子バレーボール部では平日は朝練が約1時間、夕練が約3時間、つまり4時間の練習をしております。また、週末は土日ともに朝7時半から夕方6時半まで、この時間帯に拘束されて指導されているのが実態でございます。ガイドラインとは大きな隔たりがあります。顧問が「自主練をやりたいたらう？」とか「試合に勝ちたいたらう？」とか言うように練習を誘導する場合もあると聞いております。時には校長自ら「自主練ならガイドラインに触れないから、自主練をしたいと願い書を書いて出せ」と強要することもあったと聞いております。非常にびっくりいたしました。野球部サッカー部もこのような練習状態と殆ど同じであるという調査結果が出ています。

また例2としまして、ある公立中学校のブラスバンド部では平日も夜9時過ぎまで練習しております。従ってお母様方は夕食のお弁当を持たせているというお話を聞いたことがあります。週末は朝から夜まで一日練習となるのが当たり前となっております。

例の3。ある公立中学校の卓球部では、夕練終了後、先生がレギュラー選手を自分の車で引率して民間の卓球クラブに連れて行き、さらに夜9時過ぎまで練習をするという話を聞いたことが実際ありました。これは自塾の塾生が実際にあつたことなので間違いございません。

**例の 4。**宮城県では、土日もほとんど休みなしで一日練習を行っておりますが、さらに夕練が終わった後で、先ほどちょっと話に出ましたが、いわゆる「夜練」を実施している部活もあります。夜 7 時から 9 時まで練習しているということでございます。

次に、**長期休暇中の活動日及び活動時間について。**長期休暇中というのは夏休みのことですね。こういった時にどういった活動をしているかということです。部活動ガイドラインによると、運動部も文化部も「長期休業中の休養日は学期中に準じるとともに、長期休養期間を設ける」ことになっておりますが、多くの学校で守られているとは思いません。

まず**例の 1。**ある公立中学校の陸上部では 7 月 21 日から 8 月 31 日までのうちの休養日は 7 月 23 日、7 月 30 日、8 月 6 日、8 月 13 日～16 日、8 月 20 日、8 月 28 日の 9 日間だけでありました。お盆前後の 4 日間、つまり先ほどいいました 13 日から 16 日での 4 日間が長期休養期間と学校側は説明しているようですが、果たしてこの 4 日間がガイドラインで言う長期休養期間と言えるかどうかは甚だ疑問であります。

**例の 2。**ある公立中学校の吹奏楽部では夏休み中の休養日は 8 日間。一応週に 1 日ぐらいあり、お盆休みは 4、5 日。午前中の練習は一日だけで、7 時から 12 時まで 5 時間。あとは全て一日練習となっており、朝 7 時 30 分から夜 7 時 30 分頃まで殆ど拘束されます。大会が近くなってくると時には夜の 9 時過ぎまで、つまり夕食のお弁当を食べた後、9 時過ぎまで練習するときもあるという実態が出ています。これもうちの塾生からの報告がありましたから事実であります。

**定期テストへの対応について。**これもちょっと話が出ましたが、中間テストや期末テストの 3 日前にならないと停止とならないというのが殆どでございまして、中には 3 日前の日曜日にわざわざ練習試合を組むんですね。遠くの中学校、例えば松戸から我孫子、吉川、時には茨城まで行くのです。そしてその学校と練習試合を行う。駅に集合するのが朝の 6 時半で、帰宅したのが夜 8 時過ぎということもありました。事実、これはあったこととございます。うちの塾生が経験しております。そういうこともありまして、学校の先生が定期テストについてどう思っているのか不思議でございまして。

そして**具体的な弊害について。**これも子供達からよく聞いておりますので、お話したいと思えます。まず、練習を休むとレギュラー選手から外されるといのはどこの部活でも当たり前となっており、早退や遅刻も厳しくチェックされております。さぼらせないためのチェックなのでしょうが、本当に体調の具合が悪い時でも我慢してしまっ、あとで重大な病となってしまった生徒がおります。うちの生徒では、膝が痛いのもかかわらず、「今ここで練習に出なかったら次の試合に出してもらえないだろう」ということで無視して練習を続けていたら膝の靭帯をやられてしまいました。結局その選手は選手として使い物にならなくなってしまったというような大変問題になったことがございました。こういったことと更に慢性的な疲労に悩む生徒も多く、それによって学習時間の減少や集中力が持続できないということもございまして。また、父親が無理をして折角有給休暇をとって、今度土日に家族旅行を計画したのにもかかわらず、「今度練習に出なかったらレギュラーから外

される」と言って家族と喧嘩をし、そのために家族間の不和に発展したケースもあります。更に、土日の一日中部活にとられていますので、老人だとか或いは地域の人たちとコミュニティの中で色々と話したり、或いは一緒に活動するという地域社会のイベントに参加することができないため、地域社会と没交渉になっております。お祭りでも山車を引くのは小さい子と老人ばかり。一番肝心な中高生が殆ど参加出来ていない。理由の大部分は部活なんですね。

また**保護者からの聞き取り**ですが、部活を終えてから勉強する子も中にはいるかも知れませんが、極めてまれな例であり、大半は帰宅してからは食事して寝るだけで、家庭学習などほとんどやれない。朝練のために朝食もろくに食べないで出ていくこともあれば、過労のため、吐き気がして食事もできないときもあるそうです。これも実際にあったことですが、保護者会で聞いたことですが、帰宅後玄関に倒れて家族が気づくまで夜中までそのまま寝てしまったということが実際あったそうです。中には、部活の担当の先生ににらまれたら大変だと深刻に考えている者もおりまして、家庭生活よりも部活を最優先しているものが多い

ということです。中にはクラスと部活、そういう狭い視野の中だけで生きているので、そこで何かあったらもう生きていられないというように狭い感覚に立ってしまっている中学生もおります。

**要望**をまとめて終わりにしたいと思います。

(安藤会長の挨拶で触れられていた通り)、部活動ガイドラインの徹底を提言いたします。また、ガイドラインに部活動は「合理的かつ効果的に取り組むこと」とありますが、そうになっていない可能性が高く、プロのスポーツ選手を目指す者もそうではない者も、あるいは体力がある者もない者も一緒に同じメニューで練習しているのは問題であります。平日の練習時間は1時間半程度で十分であり、オリンピックやプロを目指したいものは、学校の部活動以外に、民間のスポーツクラブ等で練習をできるような受け皿を設ける対応も一考ではないかと思えます。以上であります。ありがとうございました。

**【補足】**以下3点については、時間がないため意見交換の際に、口頭で補足する。

1. 多様性のある人材を育成するために、部活動にも選択肢を設けたらいかがでしょうか。例えば、週1回コースとか、週3回コースとか、あるいはレギュラーコースとか、一般練習コースとか、部活動の在り方にも多様性を取り込んで欲しいと思えます。小学校時代にピアノとスイミングをやっていた生徒がサッカー部に入ったら365日サッカー漬けとなり、本当は続けたかったピアノもスイミングもできなくなったという例もありますので、生徒たちが多様性のある過ごし方ができるようにして欲しいと思えます。

2. 第4次産業革命ではICT環境を整え、「学びの自立化」と「個別最適化」を図り、STEAM教育を効果的に行うことを目指しており、これによって多様性のある人材を育成しようと

しています。単に AI を駆使するだけでなく、国際化の中で、グローバルな視点や国際的な課題解決力を持った人材が必要であります。多くの生徒たちが部活動に多くの時間を費やしている暇はありません。日本は IT 教育において、アメリカは勿論、イスラエル、イギリス、エストニア、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランド、フィンランド等と比較しても数段の後れを取っております。

3. 国家の基盤は教育にあります。部活漬けとなっている日本の子どもたちの多くは学習時間も少なく、視野も狭く、自分で考える力もない人間に育ってしまいます。このままいけば、日本の繁栄も自由も独立も守ることができないことは火を見るより明らかであります。部活の現状をこのまま容認し続けることは国家の安全保障にもかかわることであり、亡国の道であります。国政を預かる国会議員の皆様の責任は重いと思います。政府与党としてその責任の重さをどこまで認識しているのかを問い正したい気持ちであります。

#### \*参考

学習塾の従業者数は約 37 万人、通塾生徒数は約 300 万人。世帯数は約 200 万世帯。

保護者は  $200 \text{ 万} \times 2 = 400 \text{ 万人}$ 、祖父母数は  $400 \text{ 万人} \times 2 = 800 \text{ 万人}$

$300 \text{ 万人} + 400 \text{ 万人} + 800 \text{ 万人} = 1500 \text{ 万人}$ の目が我々塾人のうしろで光っていることをくれぐれもお忘れなきよう心しての対応をお願い申し上げます。以上であります。

大変僭越なお話を致しました。ご寛恕賜ればと思います。ありがとうございました。

## 学校説明会レポート 2019 (その2)

### 西武文理中学・高等学校 (埼玉県狭山市)

日時 2019 年 (令和元年) 7 月 3 日 (水) 10:30~11:30 (中学)、11:45~12:45 (高校) レポーター: NP0 塾全協全国事務局長・東日本ブロック広報局長 中村基和



先月は千葉県の学校説明会に出向きましたが、今月は埼玉県の学校説明会に行きました。この学校から私の塾にもよくDMが届くのですが、まず生徒が受験することはありません。私の塾（東京中野区）から行く場合は、まず西新宿5丁目までバス、そこから都営大江戸線で中井、それから西武新宿線で新狭山まで行き、スクールバスに乗るということになり、1時間半以上かかります。しかし同じ中野区でも新井薬師や鷺宮など西武新宿線沿線の駅の近くに住んでいる生徒の場合は1時間かかるかかからない程度なので、東京都内からでも十分通学圏にあることがわかりました。



新狭山には送迎用のスクールバスが来てくれました。去年行った川越東も、先月行った専修大松戸も、そして今回の西武文理もスクールバスは必須の交通手段のようです。東京の学校以外殆ど知らない私にとっては、大きさに言えば異文化にさえも感じました。（こういうのを都会のイナカッペと言うみたいです（笑））

説明会は2部に分かれて行われました。始めは中学校長の伊藤邦義先生の挨拶と説明。教育の精神（高校も共通）は、英国のパブリックスクールを模範としたレディー&ジェントルマン中高一貫エリート教育で、校訓は誠実、信頼、奉仕です。グローバルコースを設け英語力の育成に力を入れています。1学年は4クラスで、東京都の生徒が35~50%いま

す。中 2 時に特別選抜コース、中高一貫進学クラス、グローバルコースの 3 つに分かれます。希望でグローバルコースには誰でも入れます。英数国は公立中の 1.6 倍の授業時間数で、定期テストが終わってから、特別編成授業で補修はかなり行っています。

次は募集担当の先生から中学入試の説明です。入試は 4 種類あります。(1)4 科 2 科入試は 1/10~4 回の入試があり、特選クラスは一貫クラスよりも算数の応用問題の難度がやや上がります。(2)英語 1 教科入試・算数 1 教科入試。1 回目が一貫クラス、2 回目以降が特選クラスという組み合わせがお勧めだそうです。単願受験の場合は合計点に 10 点が加算されます。(3)適性検査型入試。今度で 3 年目を迎え、都立中高一貫校の共通問題に準じます。単願受験の場合は合計点に 20 点が加算されます。また 1/24 に受験者全員に採点評価表が発送されます。都立中高一貫校の適性検査が 2/3 ですので、その事前に弱点チェックなどになると好評だそうです。(4)思考力入試(新企画)思考力Ⅰ(国算融合)、思考力Ⅱ(理社融合)の教科横断型で、近日中にホームページにアップされるそうです。単願受験の場合は合計点に 20 点が加算されます。

15 分の休憩後高校の説明会が始まりました。今年度から着任の校長の柴田真琴先生の挨拶と事項紹介です。柴田先生は以前は都立高校教員、その後は管理職。40 年くらい前は都立の新任教師は定時制か島に行かされました。柴田先生は小笠原諸島でした。その後国分寺高校に 13 年。そして進学校で有名な八王子東や都立中高一貫校の大泉で副校長をし、20 年くらい都立高校の立て直しをしてきました。「本校の現状と 3 ヶ月間の取り組み」に関して、「職員が、変わっていかなければならないという危機感を持っている。教員の腕前を 1 ヶ月観察したところ、腕前の良い教師が多かった。高 3 は夏季に面談をやれば夏休みに何をやれば良いかわかる。生徒に今教員を追い越させるようなノウハウを教員に身につけさせたい。」とのことでした。



次は高校入試の説明です。高校の募集定員は 450 名(内部進学者を含む)。普通科エリート選抜東大クラス、普通科、理数科、英語科に分かれます。英語科は国(100)、数(80)、英(12)の傾斜配点です。優遇制度としては単願受験生は総合得点に 15 点の加点、併願受験生は複数受験した場合 2 回目以降の受験から総合得点に 10 点の加点となります。相談の目安

値ですが、普通科エリート選抜東大クラスの併願は公立トップ校のレベルそして単願はそれよりやや低め。普通科の併願は公立 2 番手かそれよりやや下くらいかと思われます。

大学進学率は東大・京大を含む国公立が 75 名、早稲田 17 名、理科大 22 名、明大 50 名となかなかですが、どの学校でも私が一番気になるのは特進クラス以外の生徒がどれくら

いの実績を上げているかです。今回はそこまではわかりませんでした。

西武池袋線、新宿線どちらからもアクセス出来るため、東京の生徒も西武線沿線に住んでいる場合は比較的通いやすい学校です。中学入試で都立共通型の適性検査型を実施するなど東京都の生徒を意識しているように思われます。単願にせよ片岩にせよハードルはかなり高い学校です。高校は、東京の生徒に対しては都立1番手の併願校としてお勧めできる学校の一つかと思います。



## **NPO 塾全協東日本ブロック 今後の主な予定(2019年度)**

### **今後の主なイベント**

**9月16日(月祝) 東京 進学相談会**

**9月23日(月祝) 千葉 進学相談会**

**9月29日(日) 埼玉 進学相談会**

**11月 4日(月祝) 大阪 全国研修大会**

編集 NPO塾全協東日本ブロック 事務局長 中山和行

〒350-0322埼玉県比企郡鳩山町今宿229番地

TEL 049-296-1111 FAX 049-296-1111 E-mail gyqbt650@ybb.ne.jp

NPO塾全協東日本ブロックHP <http://www.jzk-east.com>